



## 最後の参観日「子どもたちの以前よりじりつした姿」

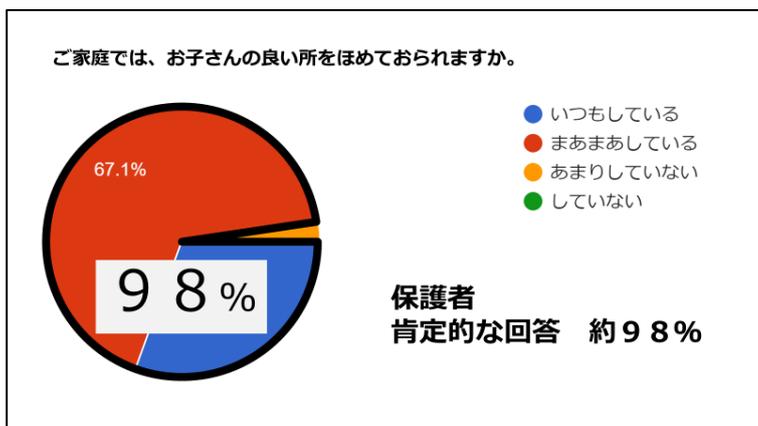
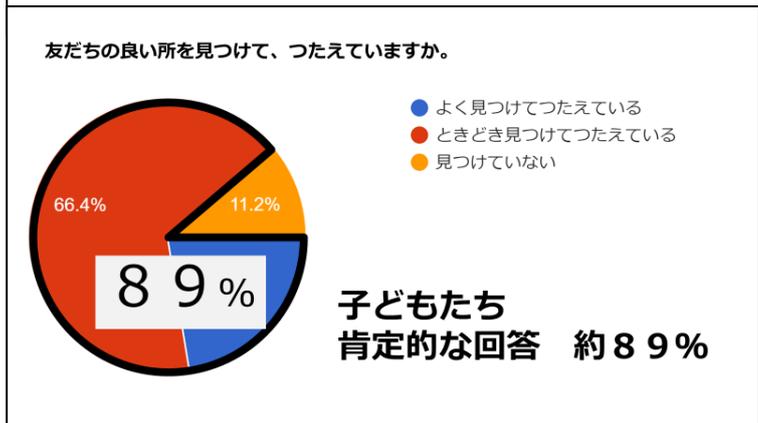
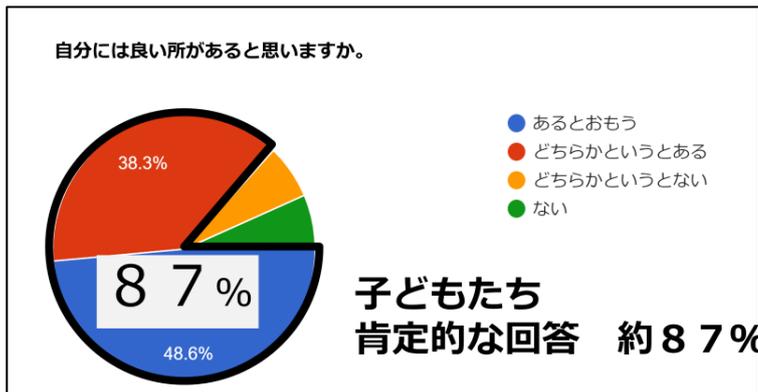
1月21日に今年度最後参観日を行いました。4月から成長した子どもたちの姿を観てもらえる機会と捉え、自由進度学習に取り組む学年や子どもたちがグループや自由に協働し、相談や考えを伝え合いながらねらいに迫る授業を公開しました。

[今年度最後の参観日・懇談会の様子（1月21日） - 丹波市立小中学校ポータルサイト](#)

平日にもかかわらず9割近くの保護者の方が参観にまたその後の学年懇談会も計70名を超える保護者の方に参加いただきました。

後日頂いた保護者の皆様からの感想（回収率40%）では、「この1年間の子どもたちの成長を感じる事ができましたか」「子どもたちは主体的に学習に取り組んでいましたか」どちらも大半が肯定的な回答を頂いていたので、その感想の一部を紹介します。

- ・席を立て笑顔で友だちと意見交換する子どもたちの姿に心強さを感じました。
- ・子ども同士、わからないと所があるとグループになって話し合い、友だちに聞けるところにすごく雰囲気が良いと感じました。
- ・5年生は自分でコツコツと出来たら答え合わせをしていて、自分で考えて努力することが大事なことだと感じました。よい取組だと感じました。
- ・教室に入りとても良い雰囲気を感じました。先生に聞いている子、友だちと教え合っている子、よい取組だと思いました。
- ・友だちのことをしっかり考えられるようになりました。約束を守りながらしっかり発表もできるようになって成長を感じる事ができました。
- ・友だち全員が発表しやすい授業をされていたので、皆が自信をもって手を挙げている姿に感動しました。
- ・一人ひとりが違う意見を持っていたのですが、それをきちんと出せる雰囲気、決して多数決で決めない雰囲気が良いと思いました。
- ・スマひまタイムで自分たちの気持ちにしっかり向き合うことを学び、楽しみながら自分たちのストレスを知った上で社会で生きていく処世術をしっかりと身に付けることができる様子がわかり、大変良かったです。
- ・一人ひとりが頑張る様子だけでなく、みんなでフォローし合う声をかけ合う姿がみられてとても良かったです。
- ・手を挙げるのに恥ずかしがっている子に「いつもできてるやん」など温かい声をかけていたり、その声を受けて勇気を出して発表したりとお互いを尊重した姿が素敵でした。先生に言われるのではなく、自分たちで考えて行動するのがとてもいいと思いました。
- ・グループの話し合いでは司会、記録、発表を誰がするかを決めて話し合う姿を見て、4年になったらこんな風に話し合いができるんだと感心しました。



また、学年懇談会の初めに、これまでの子どもたちや先生・保護者の方々のアンケートから竹山小の取組をお伝えする機会としました。「自分には、良い所があるか」を1～6年生の子どもたちに尋ねたところ、87パーセントの子が「自分にはいい所がある」と回答しました。また89%の子が「友達の良い所を見つけて伝えている」と回答していました。先生方も子どもたち同士がよいところを見つけて伝え合う場を意識的に創り出していると回答していて、授業中だけでなく終わりの会などでもその日の友だちの頑張りを伝え合う時間を意識的に設定したり、頑張りを張り出すなどの取組をしている学年もあります。

保護者の方のアンケートでも、98%のご家庭でお子さんのよいところを認めていると回答しておられました。このように学校と家庭が一体となり、自分のよさ、友達の良

さに気づく中で、子どもたちの自尊心や自己肯定感がはぐくまれ自分も相手も大切にできる子が育つと感じました。

他にも、挨拶やSNSの使用時間など、家庭でもお子さんと一緒に考えてほしいこともお伝えし、後の懇談会の話題として頂きました。学校から子どもたちや保護者の皆さん、先生方にも回答いただいたアンケートの結果をお返しする機会となりました。

保護者の方から頂いた別の質問への感想については次号でお伝えします。

